

科目名	通信理論 I			担当教員	白石 啓一		
学年	電子制御 4 年	学期	前期	履修条件	選択	単位数	1
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	09C04_30941	単位区別	履修単位
学習目標	通信を高エネルギー・高信頼度で行い、そのセキュリティを確保するための基礎理論を習得する。確率論の基礎を理解し、情報源の持つ情報量が定量化できることを知る。情報源符号化定理を背景に、通信を高エネルギーで行うことができる符号の作成方法を習得する。						
進め方	教科書を基に各学習項目ごとの内容と例題の解説を行う。練習問題については課題とするので、各自自習しておくこと。適宜、練習問題・類題のレポート・小テストを課す。						
履修要件	後期通信理論 II の履修を希望するものは必ず履修すること。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1.通信のモデル(2) 2.集合・確率(2) 3.平均(2) 4.条件付き確率(2) 5.マルコフ過程・ベイズの定理(2) 6.情報源のモデル(1) 7.エントロピー・情報量(3) ----- 8. 前期中間試験(2) ----- 9.試験問題の解答, 平均符号長(2) ----- 10.情報源符号化定理(2) 11.ハフマン符号(5) 12.ランレングス符号(5) ----- 13. 前期末試験(2) ----- 14.試験問題の解答と授業評価アンケート(2)			確率論の基礎を理解し、与えられたモデルにおいて、様々な確率を計算できる。 D1:2  情報源のモデルを理解し、情報源が持つ情報量を計算できる。 D2:2  情報源符号を作成できる。具体的な情報源記号列を符号化できる。また、逆に符号列を復号できる。 D2:2			
評価方法	定期試験を 60%, レポート・授業態度・小テストを 40% の比率で総合評価する。						
関連科目	基礎数学 I・II, 基礎工学演習, 工学演習, 応用解析学, 確率統計論 I, 通信理論 II, 計算機工学 I, 応用数学 II						
教材	教科書: 三木成彦他著 「情報理論」 コロナ社						
備考	学習相談時間は放課後 (16:00-17:00 または 18:45)。メール等で予約することが望ましい。メールでの質問も内容によって受付可。						